

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991100015		
法人名	株式会社ツクイ		
事業所名	ツクイ都留中津森グループホーム		
所在地	山梨県都留市中津森1033-1		
自己評価作成日	平成27年10月30日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会		
所在地	甲府市北新1-2-12		
訪問調査日	平成27年11月13日(金)		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様一人一人が1日1回は外に出られるよう、お花や畑をしています。帰宅願望のある方には、何度でも職員が付き添いご本人に納得していただけるまで援助しています。階段を使い移動したり、散歩・体操に取り組み筋力低下を予防しています。薬に頼らず、自然排便できるよう水分・食べ物・運動をしています。精神的に不安定な方にも日々のケアの中で穏やかに過ごしていただけるようにしています。不穏時にはご本人にあった、早急な対応を心掛けて安心して頂けるようにしています。出来る事は、継続していただき、出来る事を増やせるケアを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の窓からは、周りの山々が間近かに見え、四季の変化が心温かく感じとれる。敷地内にはデイサービス事業所があり、ボランティアの来訪時は一緒に楽しんでいる。今年度から管理者が代わり、事業所の運営等、さまざまな業務の見直しを行い、調理にかかる時間や方法を改善して、余裕が出来た時間を毎日一回(雨の日も)は戸外に出る事や事業所内の活動に力を入れ始めた。また、散歩の折は住民と積極的に挨拶を交わしたり、地域の商店を利用する事で、地域の人々との関わりを深める事に努めている。職員は理念を理解して寄り添うケアを実践し、管理者と共に事業所のレベルアップに努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

調査シート(自己評価および外部評価結果)

事業所名 (ツクイ都留中津森グループホーム)

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			竹とんぼ	紙ふうせん	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた町で、幸せと感じる時を大切にします。一人一人の気持ちに寄り添い、ゆとりある時間を大切にする生活を支援します。という理念のもと、入居者様に寄り添うケアができるようにしています。	住み慣れた町で、幸せと感じる時を大切にします。一人一人の気持ちに寄り添い、ゆとりある時間を大切にする生活を支援します。という理念のもと、入居者様に寄り添うケアができるようにしています。	事業所独自の理念を廊下に掲げている。入職時には管理者が新入職員に説明する。月1回のカンファレンス時に日常業務を振り返り、日々のケアを確認して、職員間で理念を共有している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	散歩の機会を増やし、地域の方と挨拶をかわしたり、会話をする機会を設けています。地域開放行事を行い地域の方との交流を深める機会作りをしています。	散歩の機会を増やし、地域の方と挨拶をかわしたり、会話をする機会を設けています。地域開放行事を行い地域の方との交流を深める機会作りをしています。	毎月2回利用者と職員が地域の清掃を行ったり、散歩時には挨拶を交し合い、地域との関わりを心がけている。事業所の夏祭りや節分の祭には地域にチラシを配り、中学生の職場体験生を受け入れている。ボランティアが来訪して「太鼓演奏、フラダンス、韓国舞踊」を披露してくれた。地域と関わりながら暮らし続けるために、地域の商店をより利用したいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎月2回、入居者様と職員で、近隣の清掃をおこなっています。	毎月2回、入居者様と職員で、近隣の清掃をおこなっています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議をおこなっております。行政の担当者・地区の民生委員・ご家族に出席していただきご意見や感想をもとに、運営に反映しています。民生委員の方の参加が増えてきているので地域の方の参加が増えるよう、連携を図っていききたい。	2ヶ月に1度運営推進会議をおこなっております。行政の担当者・地区の民生委員・ご家族に出席していただきご意見や感想をもとに、運営に反映しています。民生委員の方の参加が増えてきているので地域の方の参加が増えるよう、連携を図っていききたい。	2か月に1回開催し、事業所の運営状況や活動報告、事故報告等を行っている。事故報告で参加家族より、具体的な内容も報告されるとよい、との意見があり対応した。出席した民生委員が他の民生委員にも声を掛けてくれ、民生委員の出席者が増えた。会議録を会議に出席していない家族に郵送している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	文書関係での報告を行ったり、情報を頂いたり相談をさせて頂いています。ホームとして協力出来る事を思案しています。	文書関係での報告を行ったり、情報を頂いたり相談をさせて頂いています。ホームとして協力出来る事を思案しています。	市の介護保険課には事故報告の手続きや入居状況の報告に出向くこともある。地域包括支援センターとの情報のやりとりを定期的に行っており、協力関係を築くよう心がけている。管理者は地域のために何かお手伝いをして、力になればと考えている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1度リスク委員会を開催し、身体拘束について話し合いをしています。年に1度研修をおこない職員に周知しています。身体拘束の廃止の理念を掲示しています。	月1度リスク委員会を開催し、身体拘束について話し合いをしています。年に1度研修をおこない職員に周知しています。身体拘束の廃止の理念を掲示しています。	年間研修計画の中で身体拘束をしないケアを学び、月1回のリスク委員会でも取り上げ話し合っている。また、事務室に身体拘束廃止の理念・方針を貼ってあり、個々に確認を行っている。拘束に繋がる言葉を柔らかい言葉に言い換える方法を、その都度、話し合っており、職員はより理解するようになっていく。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修にて職員の知識・意識を高めています。職員全体で意見交換・検討をしています。	研修にて職員の知識・意識を高めています。職員全体で意見交換・検討をしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	成年後見制度を利用されている入居者様がいらっしゃいます。職員の理解を深める為、再度研修機会を利用し、勉強会をしていきたいと思います。	成年後見制度を利用されている入居者様がいらっしゃいます。職員の理解を深める為、再度研修機会を利用し、勉強会をしていきたいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・退去時にはご家族に説明を行い、理解を頂いております。	契約・退去時にはご家族に説明を行い、理解を頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			竹とんぼ	紙ふうせん	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口を本社・事業所に設けています。契約時に市町村・国保連の相談窓口のご案内をしています。	苦情相談窓口を本社・事業所に設けています。契約時に市町村・国保連の相談窓口のご案内をしています。	家族の面会時、利用者の近況報告をして、意見や要望を聞いている。「現状で大丈夫です」との家族の声が多い。野菜作りの提案があり、サツマイモとねぎを作り、収穫を楽しんだ。現在菜っ葉が育っている。意見や要望は業務ノートと申し送りノートに記録して、運営に反映している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	朝礼や毎月行っているミーティング時に意見や提案を出せる機会を作っています。個人面談を適時行っております。	朝礼や毎月行っているミーティング時に意見や提案を出せる機会を作っています。個人面談を適時行っております。	ミーティング時に要望・提案を聞いている。面談が必要な折は適時行い、職員の得意な事を伸ばすよう努めている。レクリエーション行事は職員の当番を決め、実施している飾り物や玄関の花の手入れ等職員の提案を取り入れた。管理者と職員は何でも言い易い雰囲気が出来ている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務時間帯・勤務日を考慮したシフトを作成しています。資格手当を支給しています。職員の得意な事を引き出し担当として、やりがいを見出していただけの工夫をしています。	勤務時間帯・勤務日を考慮したシフトを作成しています。資格手当を支給しています。職員の得意な事を引き出し担当として、やりがいを見出していただけの工夫をしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修・行政の研修を積極的に受けられるよう努めています。月に1度職員全体で研修を行い、知識の習得の機会を確保しています。	法人内の研修・行政の研修を積極的に受けられるよう努めています。月に1度職員全体で研修を行い、知識の習得の機会を確保しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のGHの管理者・計画作成担当者との交流の中で、情報交換をしています。外部の研修に参加し他施設のかたとの交流を持ち情報交換・意見交換の機会をつくっています。	法人内のGHの管理者・計画作成担当者との交流の中で、情報交換をしています。外部の研修に参加し他施設のかたとの交流を持ち情報交換・意見交換の機会をつくっています。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	直接職員がご自宅・他施設に伺いご本人ご家族様より、現在困っている事や不安に思う事などお話を伺うようにしています。入居後は、不安なくすごして頂けるよう、寄り添うケアをしています。職員間でも情報を共有し安心して過ごして頂けるよう努めています。	直接職員がご自宅・他施設に伺いご本人ご家族様より、現在困っている事や不安に思う事などお話を伺うようにしています。入居後は、不安なくすごして頂けるよう、寄り添うケアをしています。職員間でも情報を共有し安心して過ごして頂けるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にご家族の想いや希望を伺いご家族の想いに添える様、努めている。連絡をこまめにおこない安心して頂けるよう配慮しています。	入居前にご家族の想いや希望を伺いご家族の想いに添える様、努めている。連絡をこまめにおこない安心して頂けるよう配慮しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・ご家族からの情報の中から、支援が必要な部分を見極め自立の部分は継続していただけるようにしている。	ご本人・ご家族からの情報の中から、支援が必要な部分を見極め自立の部分は継続していただけるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除・洗濯・調理・買い物と一緒にこない、コミュニケーションをはかっています。畑での野菜作りの際には、入居者様のご指導のもと職員と一緒に作業しています。	掃除・洗濯・調理・買い物と一緒にこない、コミュニケーションをはかっています。畑での野菜作りの際には、入居者様のご指導のもと職員と一緒に作業しています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			竹とんぼ	紙ふうせん	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、日頃の様子をお伝えし、対応に戸惑う時には、ご家族からの情報をいただき、ご本人にとって最善の方法を導き出すようにつとめています。変化がみられた際には、報告・相談をしています。	面会時には、日頃の様子をお伝えし、対応に戸惑う時には、ご家族からの情報をいただき、ご本人にとって最善の方法を導き出すようにつとめています。変化がみられた際には、報告・相談をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのかたの面会・外出・外泊は制限なく行って頂いております。	馴染みのかたの面会・外出・外泊は制限なく行って頂いております。	入居前の床屋に家族が連れて行くことや、利用者の行きつけのスーパーに買い物に行く等、馴染みの場所や関係が途切れないように支援している。家族や友達の来訪を積極的に受け入れている。家族の確認の元で電話の取次ぎや手紙支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士が良好な関係を築けるよう、職員が多く関わりをもち援助しています。	入居者様同士が良好な関係を築けるよう、職員が多く関わりをもち援助しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方のご家族からの相談を受けたり、居宅ケアマネージャーへの情報提供をしています。	退去された方のご家族からの相談を受けたり、居宅ケアマネージャーへの情報提供をしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画作成がモニタリングをおこない、把握に努めています。カンファレンスの際には職員全体で検討・把握をしています。	計画作成がモニタリングをおこない、把握に努めています。カンファレンスの際には職員全体で検討・把握をしています。	入居時に利用者の情報を把握し支援している。意思の把握が困難な利用者には行動や表情で判断し、寄り添う支援をしている。利用者がドアを叩く時は、外に出たい、と理解して、戸外に出る事や散歩に出掛ける。また、不穏な行動がある時の原因を職員間で話し合っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回の面談時に生活歴などをご本人・ご家族・居宅ケアマネージャー・関係者のかたから情報を収集している。入居後は、ご本人との会話の中から理解を深めています。	初回の面談時に生活歴などをご本人・ご家族・居宅ケアマネージャー・関係者のかたから情報を収集している。入居後は、ご本人との会話の中から理解を深めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	1日を通しての様子や行動の情報共有をおこない、カンファレンスや朝礼の際把握に努めています。	1日を通しての様子や行動の情報共有をおこない、カンファレンスや朝礼の際把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとのモニタリング時に、ご本人・ご家族の意向を尊重しながら、職員間での情報交換・検討をおこない、ご本人にとって必要とされる介護計画書を作成しています。	3ヶ月ごとのモニタリング時に、ご本人・ご家族の意向を尊重しながら、職員間での情報交換・検討をおこない、ご本人にとって必要とされる介護計画書を作成しています。	面接時に利用者・家族から生活歴、要望、好きな事などを聞き、継続出来る事を見つけて、暫定プランを作成する。1か月後のモニタリング後、本プランを作成している。その後3か月毎にモニタリングをする。状態変化時は、その都度プランを修正、変更し現状に即したプランとしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、個別のケアプランに沿った記録をおこなっています。モニタリング時の参考にしています。	毎日、個別のケアプランに沿った記録をおこなっています。モニタリング時の参考にしています。		

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			竹とんぼ	紙ふうせん	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	様々なニーズに対応できるよう、同法人のデイサービス・訪問入浴・訪問介護サービスとの連携を図れるようにしています。	様々なニーズに対応できるよう、同法人のデイサービス・訪問入浴・訪問介護サービスとの連携を図れるようにしています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	避難訓練時には、消防署のかた、ボランティアのかたとの交流。中学生の職場体験の受け入れをし交流の機会を作っています。	避難訓練時には、消防署のかた、ボランティアのかたとの交流。中学生の職場体験の受け入れをし交流の機会を作っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診時には、日頃の様子をお伝えしています。必要時には、受診に付き添い日頃の様子変化をお伝えし、医師の指導を受けています。	受診時には、日頃の様子をお伝えしています。必要時には、受診に付き添い日頃の様子変化をお伝えし、医師の指導を受けています。	入居前の掛かり付け医に受診の利用者が多く、受診時は家族同行を基本としている。家族の要望時や必要時は職員が同行している。受診結果の報告を受け、申し送りノートに記録して、職員が共有している。家族の希望により協力医の月2回の往診を受けている利用者もいる。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理にきている。バイタルチェック・内服薬に関する相談・排泄・食事の状況について相談をしています。容態の変化時には緊急の対応をさせていただいております。オンコール体制を整えております。	24時間医療連携体制を整え、看護師が定期的に健康管理にきている。バイタルチェック・内服薬に関する相談・排泄・食事の状況について相談をしています。容態の変化時には緊急の対応をさせていただいております。オンコール体制を整えております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、情報を提供しています。入院中の経過は、訪問看護師に伺い経過を把握しています。退院時には担当看護師より情報をうかがい、看護サマリをいただいで、退院後の生活の参考にしています。	入院時には、情報を提供しています。入院中の経過は、訪問看護師に伺い経過を把握しています。退院時には担当看護師より情報をうかがい、看護サマリをいただいで、退院後の生活の参考にしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応に係る指針について、契約時にご家族に説明をおこなっています。日頃より往診医と連携を図っており、協力をいただいております。	重度化した場合の対応に係る指針について、契約時にご家族に説明をおこなっています。日頃より往診医と連携を図っており、協力をいただいております。	利用開始時に利用者・家族に事業所が対応出来る事を説明して、理解を得ている。看取りを行う方針であり、9月にも看取りを行った。職員は研修で知識や心がまえ等を学び、医療関係者と連携し、体制を整えて、チームで看取り支援を行っている。	研修時の資料を基にして、事業所の看取りの指針書を作り、より安心した看取りの体制がとれる事を期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署による研修の参加・ホームでの研修をおこない急変時や事故発生時に的確な対処が実践できるよう努めています。	消防署による研修の参加・ホームでの研修をおこない急変時や事故発生時に的確な対処が実践できるよう努めています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身に付けるとともに、地域との協力体制を築いている	火災(地震)を想定した避難訓練を年2回おこなっております。消防署のかたのご指導をいただいております。緊急連絡網による連絡体制の強化をおこなっております。	火災(地震)を想定した避難訓練を年2回おこなっております。消防署のかたのご指導をいただいております。緊急連絡網による連絡体制の強化をおこなっております。	年2回防災避難訓練をしている。一回目は夜間時の地震と火災想定で出火場所を決めて、ひとりで避難誘導を行った。また、消防署が立ち会い、通報の仕方、消火器の使い方、避難の仕方の訓練を行った。2回目はデイサービスと合同で行う予定である。廊下の壁にヘルメットと防災頭巾が掛けてあり、備蓄は法人で準備している。	夜間想定避難訓練時には夜勤をしている職員全員が経験する事が大切と思われる。訓練の回数を問わずに、日常活動の中にも取り入れて意識づけする事も出来るので、災害時には利用者を無事に避難出来る方法を全職員が身に付ける事を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様に対しての言葉かけには、職員同士が気を付けています。目上の方と言う事を念頭におき言葉かけをしています。帳票類は、外部のかたの目に触れないよう心掛けています。	入居者様に対しての言葉かけには、職員同士が気を付けています。目上の方と言う事を念頭におき言葉かけをしています。帳票類は、外部のかたの目に触れないよう心掛けています。	職員は研修で個人情報保護について学び、理解しており、秘密保持と情報管理を徹底している。呼び名は基本的には苗字で呼んでいるが、名前の利用者もいる。利用者は目上の人である事を忘れずに、目線を合わせて、リラックスする言葉かけ心がけている。声かけひとつで利用者から穏やかな笑顔が返ってくる事がある。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			竹とんぼ	紙ふうせん	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	外に出たい方、帰宅願望があるかたには、職員が付き添いその都度ご本人の意思を尊重しています。入居者様が自己決定できるような支援を心掛けております。	外に出たい方、帰宅願望があるかたには、職員が付き添いその都度ご本人の意思を尊重しています。入居者様が自己決定できるような支援を心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人のペースで生活していただけるよう配慮しています。居室への立ち入りも必要以上にならないよう心がけております。面会時にはゆっくりと居室ですごしていただけるようにしています。	ご本人のペースで生活していただけるよう配慮しています。居室への立ち入りも必要以上にならないよう心がけております。面会時にはゆっくりと居室ですごしていただけるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1度美容師が来所します。ご本人の希望を伺いながらそのかたにあったスタイリングにしています。外出の際には口紅を塗るなどおしゃれができるよう支援しております。	2ヶ月に1度美容師が来所します。ご本人の希望を伺いながらそのかたにあったスタイリングにしています。外出の際には口紅を塗るなどおしゃれができるよう支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきなど下ごしらえを手伝っていただいたり、トレーを拭いて頂くなど、できることは声かけをし支援しています。	野菜の皮むきなど下ごしらえを手伝っていただいたり、トレーを拭いて頂くなど、できることは声かけをし支援しています。	2つの会社から食材の配達を受け、朝食と夕食を職員と共に利用者が出来る部分を行い、作っている。日中は様々な活動に力を入れたい、との方針で昼食は冷凍食を利用している。食事の後片付けや下膳等は出来る利用者も行っている。事業所の菜園ではさつまいもが採れて、おやつ作りをした。その他の野菜なども食材にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別の食事量・水分量を記入し把握しています。そのかたの状態に合わせた形態で提供しています。必要な方にはミキサー食・ムース食・トロミを使用し誤嚥の予防に努めています。	個別の食事量・水分量を記入し把握しています。そのかたの状態に合わせた形態で提供しています。必要な方にはミキサー食・ムース食・トロミを使用し誤嚥の予防に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後歯磨きをしていただくよう、声かけをおこなっています。義歯の方には入れ歯洗浄剤を使用し口腔内の衛生に配慮しています。	食後歯磨きをしていただくよう、声かけをおこなっています。義歯の方には入れ歯洗浄剤を使用し口腔内の衛生に配慮しています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を用いて、トイレでの排泄ができるよう、その方にあった排泄の間隔を把握し声かけ誘導をおこなっています。オムツ外しにも取り組んでいてリハビリを使用したかたも、日中は布パンツに切り替えられるように取り組んでいます。	排泄チェック表を用いて、トイレでの排泄ができるよう、その方にあった排泄の間隔を把握し声かけ誘導をおこなっています。オムツ外しにも取り組んでいてリハビリを使用したかたも、日中は布パンツに切り替えられるように取り組んでいます。	排泄チェック表を利用している。排泄が自立している利用者には排泄後に排泄の確認の声掛けとトイレ使用後の確認を行っている。トイレでの排泄を目指して、食べ物・飲み物や運動、適切な声かけの工夫をしている。様々な工夫を行い、排泄の失敗が少なくなり、自ら排泄の訴えが出来る様に改善した利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	果物や乳製品を多く摂るようにしています。階段を使い散歩にいたり、体操をし運動して自然排便を心掛けています。	果物や乳製品を多く摂るようにしています。階段を使い散歩にいたり、体操をし運動して自然排便を心掛けています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は決めず、週2~3回の入浴しています。ご本人の希望や必要時には入浴し清潔を保てるようにしています。入浴拒否のかたにはご本人の希望の時間を伺い気持ちよく入浴していただけるよう配慮しています。	入浴日は決めず、週2~3回の入浴しています。ご本人の希望や必要時には入浴し清潔を保てるようにしています。入浴拒否のかたにはご本人の希望の時間を伺い気持ちよく入浴していただけるよう配慮しています。	一人につき週2~3回午前・午後に入浴している。入浴を嫌がる利用者には希望に沿って夜の時間帯にも対応したり、「温泉に行きましょう」と声掛けを工夫して入れるように支援している。支援時は利用者が浴槽の中にきちんと入って、血流が良くなるように心がけている。	

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			竹とんぼ	紙ふうせん	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠できるよう、日中、散歩に出たり、体操をし体を動かす活動をしています。ご本人の意思により、いつでも休息できるようにしています。	安眠できるよう、日中、散歩に出たり、体操をし体を動かす活動をしています。ご本人の意思により、いつでも休息できるようにしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関しては、薬状を参考にし職員が把握しています。変更時には職員に周知できるようにしています。	薬に関しては、薬状を参考にし職員が把握しています。変更時には職員に周知できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様個々の出来る事、好きな事を見極め職員がアプローチし張りのある生活が出来るよう働きかけております。花のみずやりや畑仕事など役割を持っていただいています。	入居者様個々の出来る事、好きな事を見極め職員がアプローチし張りのある生活が出来るよう働きかけております。花のみずやりや畑仕事など役割を持っていただいています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日、散歩や花を見に外に出られるよう援助しています。月に1回は季節に合わせた外出もおこなっております。ご家族との外出もご希望時にははしていただいております。	毎日、散歩や花を見に外に出られるよう援助しています。月に1回は季節に合わせた外出もおこなっております。ご家族との外出もご希望時にははしていただいております。	一日に一回は必ず戸外に出て、外気にあたることを日課としている。天気良ければ事業所周りを散歩したり、また、畑の手入れを行い、雨の日でも外に出て、お花や雨模様を眺めたりしている。その他、月一回のレクリエーション行事を計画して、季節の花見やぶどう狩り・紅葉狩り、外食等実施している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の規定により、事業所には現金を置いてはいけないことになっています。買い物のご希望があった際には、ご家族に承諾を得てから事業所立て替えて購入しています。	法人の規定により、事業所には現金を置いてはいけないことになっています。買い物のご希望があった際には、ご家族に承諾を得てから事業所立て替えて購入しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの手紙が届くことがあります。すぐにご本人にお渡ししています。電話をかけたいとの要望があるときにはご家族に確認し対応しています。	ご家族からの手紙が届くことがあります。すぐにご本人にお渡ししています。電話をかけたいとの要望があるときにはご家族に確認し対応しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔を保ち、明るさにも配慮しております。季節を感じられるよう貼り絵などを展示したり、季節の花を飾っています。温度・湿度をこまめにチェックし快適にすごしていただけるようにしています。	常に清潔を保ち、明るさにも配慮しております。季節を感じられるよう貼り絵などを展示したり、季節の花を飾っています。温度・湿度をこまめにチェックし快適にすごしていただけるようにしています。	共有空間は、温かみに満ちている。職員と共に作った貼り絵や粘土作品が事業所内のあちこちに趣味良く飾ったり、テーブル上に置いてある。置コーナーがあり、寒い時期はこたつで寛ぐことが出来る。当日は畳の上にやりかけの細かいバズルがいくつかが置いてあり、利用者が熱心に完成を目指しているとの説明があった。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室に、こたつがあり、足を温めながら、ゆっくりと過ごして頂けるようにしています。フロアにソファがありそちらで入居者様同士お話をされています。	和室に、こたつがあり、足を温めながら、ゆっくりと過ごして頂けるようにしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使用していた、馴染みのものを使用して頂き、違和感なく過ごして頂けるようにしています。	家で使用していた、馴染みのものを使用して頂き、違和感なく過ごして頂けるようにしています。	各居室の入口に職員と共に作った手作り表札があり、自分の部屋の認識が出来るように工夫してある。クローゼットと作り付けハンガー掛けが設置してあり、カーテン以外は入居者が馴染みの物、好みの物「テーブルセット、テレビ、筆筒、木製椅子、ベッド」等持参して居心地よく過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物全体がバリアフリーになっています。トイレ・廊下・浴室・階段には手すりが設置されています。トイレにはわかりやすいように貼紙と目印をつけています。	建物全体がバリアフリーになっています。トイレ・廊下・浴室・階段には手すりが設置されています。トイレにはわかりやすいように貼紙と目印をつけています。居室には手作りの表札をつけています。		